

支える会っうしん

公立芽室病院をみんなで支える会広報
第2号
2011年10月6日発行

第1回 病院との懇談会 開催決定！！

いつ 10月27日(木) 18:30～ 受付開始
19:00～ 懇談会開始

どこで 芽室町中央公民館 視聴覚室 (3階)

だれが 支える会会員 と 病院職員の 懇談会

なにを ・お話1 病院運営のお話と被災地支援の話から

・お話2 「CTも3D(立体)の時代？」 <小窪院長>

スリーディーシーティー
3DCT(マルチスライスCT)って知っていますか?

芽室町に新鋭機器が導入されている。その話を聞いてみよう。

・ざっくばらんに 質疑応答

参加申し込み 参加申し込み 25日まで

参加ご希望の方は、下記の担当者まで連絡ください。

当日参加も可能です。ご都合がつかましたら是非参加ください。



お手伝いできる方を募集しています。

< 花壇の後片付けをします >

10月15日 8:00～
(小雨決行 雨天時 16日)

病院前花壇の後片付けをします。
お手伝い可能な方がいましたら参加ください。
今回の作業は、お花を抜き冬支度をします。
それと花壇の一部に芝桜を植えます。
参加可能な方は、あればスコップ・ホー・軍手をお持ちください。



担当役員

鳥本	62-1439
高橋	66-2330
片桐	62-4081
村上	62-2516
曾根	62-0405
沢尻	62-0640



教えて！ 支える会コーナー

病院や支える会に対する素朴な疑問にお答えするミニ情報コーナーです。

「赤ちゃんにやさしい病院」に認定されている病院って？何のこと？



ユニセフと世界保健機構（WHO）が、新生児を含む5歳未満の子どもの命を守るために母乳育児を中心とした適切な新生児ケアを推進するために全世界で「赤ちゃんにやさしい病院」イニシアティブを展開。長期にわたって母乳保育に積極的に取り組み、認定審査に通過した施設が「赤ちゃんにやさしい病院」に認定されます。公立芽室病院は平成18年度に認定されました。

日本は、ユニセフから委託された「日本母乳の会」が審査を行い認定申請をします。

世界134カ国で15000の病院が認定されている。日本は61施設。一度認定されても分娩ができなくなるなど認定を取り消しになる施設もある。一度認定されてもスタッフの努力がないと返上しなければいけなくなる。維持していくことも大変なことなのだ。



十勝では、帯広市以外に産婦人科を持つ病院は芽室町にしかありません。このこと自体大変恵まれた環境にあります。なぜ？恵まれているのか？そこには、見えていない陰でのものすごく大きな努力があるのです。病院のスタッフ・医師の苦労は測り知れません。お金の儲かる都会での開業を目指す医師が多い。（地方へ来る医師が少ない）産婦人科などの訴訟リスクの高い・時間外勤務が多い科は医師のなり手が少ない。そのなか芽室町のような小さな町に来てくださる医師がいる幸せ。それも今希少価値の高い産婦人科の医師までいてくださる。ありがたいことです。助産師さんをはじめとするスタッフの意識の高さも「赤ちゃんにやさしい病院」を支えています。そして何より芽室町で出産することを選んでくれる妊婦さんがいること。病院のスタッフだけでなく、この病院をチョイスしてくれる皆さんにも感謝です。



母乳育児成功のための10カ条

（ユニセフ・WHOによる共同声明）

1. 母乳育児の方針を全ての医療に関わっている人に、常に知らせること
2. 全ての医療従事者に母乳育児をするために必要な知識と技術を教えること
3. 全ての妊婦に母乳育児の良い点とその方法をよく知らせること
4. 母親が分娩後、30分以内に母乳を飲ませられるように援助すること
5. 母親に授乳の指導を十分にし、もし、赤ちゃんから離れることがあっても母乳の分泌を維持する方法を教えること
6. 医学的に必要がないのに母乳以外のもの、水分、糖水、人工乳を与えないこと
7. 母子同室にする。赤ちゃんとも母親が一日中24時間、一緒にいられるようにすること
8. 赤ちゃんが欲しがるときに、欲しがるままの授乳を進めること
9. 母乳を飲んでいる赤ちゃんにゴムの乳首やおしゃぶりを与えないこと
10. 母乳育児のための支援グループを作り援助し、退院する母親に、このようなグループを紹介すること

北海道内に3施設しかない認定病院の一つが芽室にある。



会員は、随時募集しています。

会員の要件 公立芽室病院を利用している人
公立芽室病院を大切に思う人
お医者さんや看護師さんを応援したい人

} そういう人なら
どこに住んで
いてもOKです

- ★ 問い合わせ 会長宅 62-1439
事務局長宅 62-2516
- ★ 年会費は、1000円です